

平成20年12月議会 一般質問

1、 パブリックコメント制度の進捗状況について

- ① 条例や制度の政策決定の際に住民から意見を募集し、提出された意見等を集約し、どれだけ住民の意見を考慮しながら政策決定されているのか伺う。
- ② 住民からの意見に対する町の考え方や修正内容もどれぐらい公表されているのか。
- ③ これからの、住民と行政との関係の中で住民が参加しながら町を良くしていかなければならないと考えているが、今後の町としての指針はどのようなになっているのか伺う。

2、 インフルエンザ予防接種の現状と今後について

- ① 65歳以上の町内在住の方は全額補助で無料になっているが、行財政改革を実施される中で今後とも65歳以上の無料は安定して実施できるのか、伺う。
- ② 今年は、流行が予想されると言われているがインフルエンザワクチンの町内保有はできているのか。
- ③ 高齢者の無料接種率はどれぐらいになっているのか伺う。

パブリックコメント制度は、条例や制度の政策決定の際に、住民から意見の募集等を集約し、それを考慮しながら政策決定する方法で、意見に対する町の考え方や修正内容も公表をするものですが、このパブリックコメント制度の進捗状況について、どれだけ住民の意見を考慮しながら政策決定されているのか、伺う。

(総務部長) 斑鳩町では、あらゆる分野における政策決定を行なう際に、住民・行政協働によるまちづくりという視点は、必要不可欠なものと位置付けておりまして、これまで住民アンケートや各種審議会委員の一般公募など、様々な取り組みを行なってきました。

いただきました貴重な意見につきましては、意見集約を行い、町としての考え方を示した上で、各計画内容に直接反映させる、またその意見に対応した取り組みを新たに実施する等、活用をさせていただいてきたところであります。

今、地方自治体は、地方分権の改革により、自己責任と自己決定のもと、住民自治の視点に立つことが必要になってきており、また協働のまちづくりを進めていく上で、情報公開や公正、透明な行政運営が求められています。

それでは、住民からの意見募集に対し、町の考え方や修正内容をどれぐらい公表して

いるのかを伺う。

（総務部長）意見募集の中でご意見をいただきました下水道事業と第2次斑鳩町男女共同参画推進計画について、お答えさせていただきます。

下水道事業につきましては、平成19年1月に、意見募集の結果を踏まえた今後の事業の進め方をまとめたパンフレットを作成し、町広報誌の折り込みで町内全戸に配布したところでございます。

また、男女共同参画推進計画につきましては、いただきました住民意見に対する考え方を斑鳩町男女共同参画推進委員会に諮り、その結果を町の考え方として町ホームページにおいて公表し、計画内容の出来る限り反映しているところでございます。

これから、人が主役のまちづくりにしていくには、住民と行政との関係の中で、住民が参加しながら、まちを良くしていかなくはないと考えておりますが、今後の町としての指針はどのようになっているのか伺う。

（総務部長）斑鳩町の基本方針としましては、住民の参加機会の拡充や参加意識の高揚を図ると共に、住民主体のまちづくり活動を支援し、それぞれの役割を明確にしたパートナーシップを構築することとし、また様々なメディアや情報技術を活用した広報活動、多様な世代や住民の声を直接聞く機会づくりなどの公聴活動及び情報公開制度の充実など、開かれた行政を邁進することといたしております。

先日の総務委員会においての説明において、確かに第4次斑鳩町総合計画では、アンケート実施の対象者の年齢を、前回20歳だったのが18歳に引き上げるなど、これからの斑鳩町を担う方々にも意見募集を図り、積極的に取り組まれていることが伺えます。今後とも、誰もが行政に意見が言え、住民が行政運営に参加できるまちづくりをねがひまして、次の質問に移ります。

インフルエンザ予防接種についてです。

現在、65歳以上の町内在住の方は全額無料になっておりますが、行財政改革を実施される中で、今後とも65歳以上の無料は安定して実施できるのか、伺う。

（住民生活部長）高齢者のインフルエンザ予防接種は、満65歳以上の方及び60歳から65歳未満の方で、心臓、肝臓、もしくは呼吸器の機能に障害のある方などに対して行なっております。

インフルエンザを予防するにはワクチン接種は最も効果的であると言われておりますことから、斑鳩町においては、厳しい財政状況ではありますが、高齢者の健康管理の一環として、1人でも多くの方に受けていただけるよう、これまで同様無料として接種していただくように考えております。

今のお答えによりますと、これまで同様無料を続行するという事なので、安心しました。

それでは、インフルエンザワクチンの町内保有は出来ているのか伺う。

(住民生活部長) 奈良県においては、インフルエンザワクチン安定供給委員会を開催し、一ヶ所の医療機関にワクチンが集中しないよう、調整を当たっております。一方、国においても、今年度の保有量は十分に確保されていると聞いております。

今までどおり、町内の医療機関で、安心して受けていただける状況でございます。

皆さんが安心して受けていただけるように、よろしくお願いいたします。

それでは、無料で実施されている高齢者の接種率はどれぐらいですか。

(住民生活部長) 高齢者のインフルエンザ予防接種の接種率は、平成18年度では51.3%、平成19年度では57.4%となっており、年々接種率は上昇しております。

今後も、積極的に予防接種を受けていただき、これからも健康管理に努めていただくよう啓発をしてまいりたいと考えております。

今の答えによると、年々接種率が上がってきたと伺いましたが、平成19年度でまだ57.4%であります。

高齢者福祉の観点から、なお一層の啓発に努めていただくことを要望いたしまして、私の一般質問を終わらせていただきます。